

**特定健診(検査項目・標準的な質問票)の該当割合,  
標準化該当比**

**－保健所管内・市町村別, 平成 29 年度(2017 年度)－**

**令和 3 年 3 月**

## 特定健診(検査項目・標準的な質問票)の該当割合, 標準化該当比

### － 保健所管内・市町村別, 平成 29 年度(2017 年度) －

1	解説	-----	1
2	特定健診有所見者の状況 (40-74 歳, 40-64 歳, 65-74 歳)		
	【沖縄県】	-----	4
	【保健所管内】		
	北部保健所	----- 10	宮古保健所 ----- 28
	中部保健所	----- 16	八重山保健所 ----- 34
	南部保健所	----- 22	那覇市保健所-----那覇市参照
	【市町村】		
	那覇市	----- 40	今帰仁村----- 124
	宜野湾市	----- 46	本部町----- 130
	石垣市	----- 52	恩納村----- 136
	浦添市	----- 58	宜野座村----- 142
	名護市	----- 64	金武町----- 148
	糸満市	----- 70	伊江村----- 154
	沖縄市	----- 76	読谷村----- 160
	豊見城市	----- 82	嘉手納町----- 166
	うるま市	----- 88	北谷町----- 172
	宮古島市	----- 94	北中城村----- 178
	南城市	----- 100	中城村----- 184
	国頭村	----- 106	西原町----- 190
	大宜味村	----- 112	与那原町----- 196
	東村	----- 118	南風原町----- 202
			渡嘉敷村----- 208
			座間味村----- 214
			粟国村----- 220
			渡名喜村----- 226
			南大東村----- 232
			北大東村----- 238
			伊平屋村----- 244
			伊是名村----- 250
			久米島町----- 256
			八重瀬町----- 262
			多良間村----- 268
			竹富町----- 274
			与那国町----- 280
3	質問票の状況 (40-74 歳, 40-64 歳, 65-74 歳)		
	【沖縄県】	-----	286
	【保健所管内】		
	北部保健所	----- 292	宮古保健所 ----- 310
	中部保健所	----- 298	八重山保健所 ----- 316
	南部保健所	----- 304	那覇市保健所----- 那覇市参照

## 【市町村】

那覇市-----	322	今帰仁村-----	406	渡嘉敷村-----	490
宜野湾市-----	328	本部町-----	412	座間味村-----	496
石垣市-----	334	恩納村-----	418	粟国村-----	502
浦添市-----	340	宜野座村-----	424	渡名喜村-----	508
名護市-----	346	金武町-----	430	南大東村-----	514
糸満市-----	352	伊江村-----	436	北大東村-----	520
沖縄市-----	358	読谷村-----	442	伊平屋村-----	526
豊見城市-----	364	嘉手納町-----	448	伊是名村-----	532
うるま市-----	370	北谷町-----	454	久米島町-----	538
宮古島市-----	376	北中城村-----	460	八重瀬町-----	544
南城市-----	382	中城村-----	466	多良間村-----	550
国頭村-----	388	西原町-----	472	竹富町-----	556
大宜味村-----	394	与那原町-----	478	与那国町-----	562
東村-----	400	南風原町-----	484		

## 4 検査項目・質問項目別 集計表

(1) 検査項目 (40-74 歳, 40-64 歳, 65-74 歳)-----	568
(2) 質問項目 (40-74 歳, 40-64 歳, 65-74 歳)-----	634

## 5 標準化該当比 検査項目・質問項目別のマップ

(1) 検査項目	
40-74 歳 -----	715
40-64 歳 -----	727
65-74 歳 -----	739
(2) 質問項目 (40-74 歳, 40-64 歳, 65-74 歳)	
40-74 歳 -----	751
40-64 歳 -----	765
65-74 歳 -----	779

## 参考 第5回オープンデータの沖縄県を基準集団とした標準化該当比

(1) 参考 1-1 沖縄県(市町村国保+協会けんぽ)の健診有所見者の状況 [40-74 歳]-----	793
参考 1-2 沖縄県(市町村国保+協会けんぽ)の健診有所見者の状況 [40-64 歳]-----	794
参考 1-3 沖縄県(市町村国保+協会けんぽ)の健診有所見者の状況 [65-74 歳]-----	795
(2) 参考 2-1 沖縄県(市町村国保+協会けんぽ)の質問票の状況 [40-74 歳]-----	796
参考 2-2 沖縄県(市町村国保+協会けんぽ)の質問票の状況 [40-64 歳]-----	797
参考 2-3 沖縄県(市町村国保+協会けんぽ)の質問票の状況 [65-74 歳]-----	798

# 特定健診（検査項目・標準的な質問票）の該当割合、標準化該当比 -保健所管内・市町村別、平成29年度（2017年度）-

## 1 解説

市町村国保、全国健康保険協会沖縄支部（協会けんぽ）より提供いただいた、平成29年度特定健診受診した40-75歳未満の224,806人（市町村国保101,232人、協会けんぽ123,574人）のデータを用いて、特定健診検査項目および標準的な質問票の質問項目について、各保健所管内・市町村別に保健指導判定区分等の該当割合、標準化該当比を算出し、表やグラフに示した。

### (1) 検査項目および質問項目の集計

検査項目は、「標準的な健診・保健指導プログラム」の健診検査項目の保険指導判定値及び受診勧奨判定値を参考に区分した（表1）。

質問項目については、標準的な質問票（表2）にそって集計した。質問項目4~7については、集計値に問題を確認したため、集計から除外した。

各検査項目、質問項目ごとに集計を行ったため、項目ごとに対象人数が異なる。

### (2) 標準化該当比

健診受診者の年齢構成を補正するため、標準化死亡比（SMR）の計算方法に準じて、男女別に「標準該当比」を算定し、基準集団（全国または沖縄県）での該当者出現率を100とした時の該当者出現率を相対値で表した。

$$\text{標準化該当比} = \frac{\text{市町村の性別該当者数の総和}}{\sum(\text{市町村の性年齢階級別受診者数} \times \text{基準集団*の性年齢階級別該当者割合})} \times 100$$

年齢階級は、40-44、45-49、50-54、55-59、60-64、65-69、70-74歳の7階級とし、40-74歳、40-64歳、65-74歳のそれぞれについて標準化該当比を計算した。

全国を基準とした標準化該当比の算出には、第5回NDBオープンデータ [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177221\\_00008.htm](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177221_00008.htm)（令和3年1月アクセス）を用いた。

### ○標準化該当比の読み方

標準化該当比が100より大きい場合は、基準集団（全国または沖縄県）より、該当割合が高く、100より小さい場合は、低いことを示す。市町村の標準化該当比が120であったとすると、当該市町村の年齢調整したうえでの該当割合は、全国とくらべて1.2倍高いことを意味する。ただし、値は偶然的な誤差を含んでいるため、国立保健医療科学院「標準化該当比計算シート」（<https://www.niph.go.jp/soshiki/07shougai/datakatsuyou/>）を参考にし、95%信頼区間を算出し、併記した。95%信頼区間が100を含まない場合、基準集団（全国または沖縄県）と比べて統計学的に有意な違いがあることを示す。

## 判定区分

判定区分	結果
標準化該当比>100 かつ 信頼区間下限>100	有意に高い
標準化該当比>100 かつ 信頼区間下限 $\geq$ 100	高いが有意ではない
標準化該当比<100 かつ 信頼区間上限 $\leq$ 100	低いが有意ではない
標準化該当比<100 かつ 信頼区間上限<100	有意に低い

表1 検査項目の判定値

検査項目	単位	保健指導判定値	受診勧奨判定値
収縮期血圧	mmHg	$\geq$ 130	$\geq$ 140
拡張期血圧	mmHg	$\geq$ 85	$\geq$ 90
中性脂肪	mg/dl	$\geq$ 150	$\geq$ 300
HDLコレステロール	mg/dl	< 40	< 35
LDLコレステロール	mg/dl	$\geq$ 120	$\geq$ 140
空腹時血糖	mg/dl	$\geq$ 100	$\geq$ 126
HbA1c(NGSP)	%	$\geq$ 5.6	$\geq$ 6.5
AST(GOT)	U/L	$\geq$ 31	$\geq$ 51
ALT(GPT)	U/L	$\geq$ 31	$\geq$ 51
$\gamma$ -GT( $\gamma$ -GTP)	U/L	$\geq$ 51	$\geq$ 101

表2 標準的な質問票

質問項目	回答
質問1 現在、「血圧を下げる薬」を使用している	① はい ② いいえ
質問2 現在、「インスリン注射または血糖を下げる薬」を使用している	① はい ② いいえ
質問3 現在、「コレステロールを下げる薬」を使用している	① はい ② いいえ
質問8 現在、たばこを習慣的に吸っている ※「現在、習慣的に喫煙している者」とは、「合計100本以上、または6か月以上吸っている者」であり、最近1か月間も吸っている者)	① はい ② いいえ
質問9 20歳の時の体重から10kg以上増加している	① はい ② いいえ
質問10 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施	① はい ② いいえ
質問11 日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施	① はい ② いいえ
質問12 ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い	① はい ② いいえ
質問13 この1年間で体重の増減が $\pm$ 3kg以上あった	① はい ② いいえ
質問14 人と比較して食べる速度が速い	① 速い ② ふつう ③ 遅い
質問15 就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある	① はい ② いいえ
質問16 夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある	① はい ② いいえ
質問17 朝食を抜くことが週に3回以上ある	① はい ② いいえ
質問18 お酒(清酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度	① 毎日 ② 時々 ③ ほとんど飲まない(飲めない)
質問19 飲酒日の1日当たりの飲酒量 清酒1合(180ml)の目安:ビール中瓶1本(約500ml)、焼酎35度(80ml)、ウイスキーダブル一杯(60ml)、ワイン2杯(240ml)	① 1合未満 ② 1~2合未満 ③ 2~3合未満 ④ 3合以上
質問20 睡眠で休養が十分とれている	① はい ② いいえ
質問21 運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか	① 改善するつもりはない ② 改善するつもりである(概ね6か月以内) ③ 近いうちに(概ね1か月以内)改善するつもりであり、少しずつ始めている ④ 既に改善に取り組んでいる(6か月未満) ⑤ 既に改善に取り組んでいる(6か月以上)
質問22 生活習慣の改善について保健指導を受ける機会があれば、利用しますか	① はい ② いいえ

【参考資料】

- ・ 健康日本 21（第二次）地域計画推進のために「地方自治体による効果的な健康施策展開のための既存データ（特定健診データ等）活用手引き」，2013年3月，研究代表者 津下一代

[http://www.ahv.pref.aichi.jp/www/files/tsushita/katsuyo\\_tebiki/tebiki\\_0.pdf](http://www.ahv.pref.aichi.jp/www/files/tsushita/katsuyo_tebiki/tebiki_0.pdf)

- ・ 自治体における生活習慣病対策推進のための「健診・医療・介護等データ活用マニュアル」，平成28年3月，厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）「健診・医療・介護等データベースの活用による地区診断と保健事業の立案を含む生活習慣病対策事業を担う地域保健人材の育成に関する研究」（H25－循環器等（生習）－一般－014） 研究代表者 横山徹爾

<https://www.niph.go.jp/soshiki/07shougai/datakatsuyou/data/data-manual.pdf>